

企業版ふるさと納税を活用して

瀬戸市を応援してください

特に寄附を募集しているプロジェクト一覧

- 誰もが1日そこで楽しめる“居心地の良い図書館”プロジェクト
- 明日また行きたくなる学校づくりプロジェクト
- 子どもが安心安全に登校できる通学路整備プロジェクト
- みんなが利用できるインクルーシブな公園づくりプロジェクト
- 災害時における医療的ケア児の安心確保プロジェクト



※ご希望をお伺いして、「瀬戸市まち・ひと・しごと創生推進事業」に沿った他事業へのご寄附もご提案可能です。

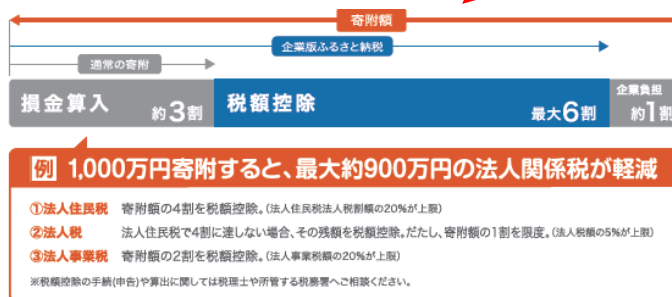
軽減効果
寄附額の最大
約9割

企業版ふるさと納税とは…

国が認定した地方公共団体の地方創生プロジェクトに対して、企業が寄附を行った場合に法人関係税から税額控除する仕組みです。

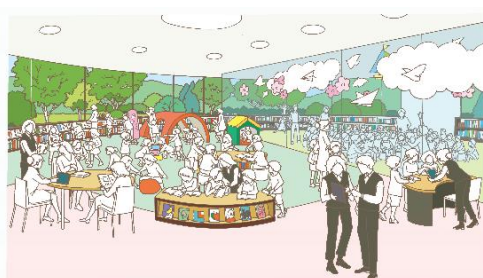
- ※ 1回当たり10万円以上の寄附が対象
- ※ 寄附企業への経済的な見返りは禁止
- ※ 本社が所在する地方公共団体への寄附は対象外

お問い合わせ先：経営戦略部 政策推進課 0561-88-2521



出典：内閣府「企業版ふるさと納税リーフレット」

誰もが1日そこで楽しめる“居心地の良い図書館”プロジェクト



図書館改修・整備後のイメージパース

背景・現状・概要

昭和45年に現在地に移転され、市立図書館として長い歴史を持ち、多くの市民に愛されてきました。今後、「大人がゆっくり楽しめる 子どもと一緒に楽しめる」をコンセプトにサードプレイスとして魅力ある滞在型図書館として改修・整備していきます。

具体的な内容

- 本を探す図書館から本と出合う図書館への改修・整備
- 子ども・若者会議で出された“図書館にあったらいいな”の実現など

目標金額

100,000,000 円

目指す都市像

都市像③

地域に住まう市民が自立し支え合い、笑顔あふれるまち

関係するSDGs



担当課：瀬戸市立図書館 0561-82-2202

明日また行きたくなる学校づくりプロジェクト



背景・現状・概要

9年間を見通した系統的な小中一貫教育に力を入れており、地域の中で子どもが育つ仕組みづくりに取り組んでいます。子どもたちが夢を持ち、学びを深め、将来の瀬戸市を担っていけるよう、ハード・ソフトの両面から学校に来るのが楽しくなる取組を行っています。

具体的な内容

- 子どもたちのための遊具、スポーツ器具、備品の設置・購入
- 中学生の国際交流事業（オーストラリアホームステイなど）
- 子どもたちが将来を考えるための体験事業（ドリームプラン）

など

目標金額

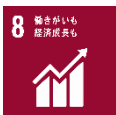
50,000,000 円

目指す都市像

都市像②

安心して子育てができ、子どもが健やかに育つまち

関係するSDGs



担当課：教育部 教育政策課 0561-88-2750
学校教育課 0561-88-2760

子どもが安心安全に登校できる通学路整備プロジェクト



通学路のカラー塗装

背景・現状・概要

昨今、登下校中の子どもたちが車に巻き込まれる事故が全国的に多発しており、安心安全な通学路づくりが求められています。

子どもたちが安心して登校できるよう、関係機関が連携し、通学路の安全確保を図っていきます。

具体的な内容

- 教育部、都市整備部、警察など関係機関で通学路の合同点検を実施
- 危険個所の整理、通学路のカラー塗装、路面表示の引き直し、歩道幅員の確保等の安全対策

など

目標金額

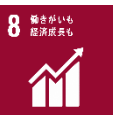
15,000,000 円

目指す都市像

都市像③

地域に住まう市民が自立し支え合い、笑顔あふれるまち

関係するSDGs



担当課：都市整備部 維持管理課 0561-88-2691

みんなが利用できるインクルーシブな公園づくりプロジェクト



子どもたちみんなが元気に遊ぶ公園
(座面がハンモック型のブランコ)

目標金額

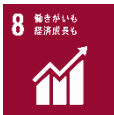
15,000,000 円

目指す都市像

都市像②

安心して子育てができ、子どもが健やかに育つまち

関係するSDGs



担当課：都市整備部 建設課 0561-88-2726

背景・現状・概要

“障害の有無や年齢などに関わらずすべての人が利用できる（インクルーシブな）公園づくり”が求められています。

子どもや子どもの遊びを見守る保護者、地域の声を踏まえて、子どもも大人もみんなで楽しく、互いを理解し、自分らしく安全に利用できるインクルーシブな公園づくりに取り組みます。

具体的な内容

- “すべての子どもが楽しめる” 遊びに多様性がある遊具の整備
- “ベビーカーも車いすもみんなが使いやすく安全に利用できる” 園路や出入口などのバリアフリー化
- “人と人がつながり憩える” ベンチや縁台などの整備

など

災害時における医療的ケア児の安心確保プロジェクト



のぞみ学園の様子など

目標金額

3,000,000 円

目指す都市像

都市像②

安心して子育てができ、子どもが健やかに育つまち

関係するSDGs



担当課：児童発達支援センター（のぞみ学園） 0561-82-0154

背景・現状・概要

のぞみ学園は、支援を必要とする幼児の通園施設として、昭和 51 年に開所、平成 30 年 4 月に発達支援室と統合し、児童発達支援センターとなりました。令和 3 年度からは医療的ケア児の受け入れが始まり、気管支切開や排せつに支援が必要な園児が、毎年 3 人程度通っています。将来的に人工呼吸器が必要な園児が入園することも想定されます。南海トラフ地震などの大規模災害に備え、園児が安心して通園できるよう、防災・減災に対する整備が求められています。

具体的な内容

- 人工呼吸器等医療機器のポータブル充電器の購入・設置
- 災害用備蓄品（通信機器用充電器など）の購入
- 災害用備蓄品を保管する倉庫の設置・整備

など